

令和7年度厚木市議会友好都市交流訪問団（軍浦市訪問）報告書

【概要版】

1 訪問期間 令和7年4月18日（金）～20日（日）

2 訪問先 韓国軍浦市

3 訪問者

[団長] 議長 遠藤 浩一

[随員] 事務局長 高橋 幸雄

4 目的

平成17年2月5日に韓国軍浦市との間で友好都市の締結を行ってから20年目を迎えました。厚木市議会では隔年で厚木市議会議長を団長とする訪問団等により訪問を行っております。

今年は、軍浦市最大の行事である「ツツジ祭り」への参加等を通じ、両市における友好交流促進を図り、両市の発展に寄与するため、厚木市議会では議長が訪問しました。

5 訪問日程

4月18日（金）

5時30分 厚木市役所 出発

9時20分 羽田空港発

11時45分 金浦空港着

15時00分 市長表敬訪問（軍浦市役所3階中会議室）

15時30分 議長表敬訪問（軍浦市議会）

16時00分 絵本館クムマル視察

17時30分 夕食会

20時00分 ホテル（ACマリオットホテル）到着

4月19日（土）

10時00分 ソンジョン複合体育センター視察

11時00分 おもちゃ図書館

12時00分 昼食

14時30分 サンボン図書館視察

16時30分 友好都市祝賀使節団歓迎晩餐会（軍浦市役所大会議室）

19時00分 開幕式出席（ツツジ園）

20時00分 ホテル到着

4月20日（日）

10時00分

11 時 00 分 昼食
16 時 10 分 金浦空港発
18 時 30 分 羽田空港着
21 時 00 分 厚木市役所到着

6 主な訪問内容

(1) 軍浦市長表敬訪問 [4 月 18 日]

ハ・ウンホ軍浦市長、山口貴裕厚木市長の両市長及び遠藤議長による挨拶、記念品交換及び意見交換等を行いました。

ハ・ウンホ市長からは、「今年は姉妹都市として交流を始めて 20 年を迎える意味深い年。20 年お互いの助けを尊重し合い優れた政策を学びながら固い友情を築いてきた。今後も両市がより深い絆と活発な交流が続いていけるよう最大限尽くす。ツツジ祭りは今年で 11 回目の軍浦市を代表する祭り。軍浦市以外にも多くの人を楽しむ首都圏を代表する祭りである。市内全体で楽しめるよう充実した内容としているので滞在中は満開の鮮やかなピンク色のツツジとともに軍浦の春を満喫していただきたい」とご挨拶をいただきました。

その後の意見交換では、両市で更に交流を図っていくことを確認しました。

厚木市市議会以外の出席者

[軍浦市]

ハ・ウンホ市長、キム・ヨンイル交流協議会副委員長、チェ・スク交流協議会委員、ヨム・ユンジョン交流協議会委員 他軍浦市職員等

[厚木市]

山口市長、秘書課井上秘書係長、企画政策課友好交流係灰岡主事

(2) 軍浦市議長表敬訪問 [4 月 18 日]

キム・グィグン軍浦市議会議長、遠藤浩一厚木市議会議長両議長及び山口市長による挨拶、友好交流締結 20 周年ということもあり、記念品交換を行い、その後意見交換を行いました。終始和やかな雰囲気で行われ、キム・グィグン軍浦市議会議長の挨拶の中で、姉妹都市締結以来親しい関係を築いてきた。今後も両市の強い証、友情と発展、輝かしい未来に向けて文化、観光、スポーツ、経済、産業など様々な分野での交流が更に広がることを期待している。軍浦市が誇るツツジ祭りに訪問団の皆様がご参加くださったこと大変意義がありうれしく思う。残念ながらツツジが完全に満開ではありませんが、皆様に向けた軍浦市民の温かい心はすでに満開となっています。澄み渡る青空の下軍浦市民の温かい笑顔が皆様の思い出として残ることを願う」と挨拶されました。また、遠藤議長からは、70 周年記念式典の参加と軍浦市及び軍浦市議会の歓迎へのお礼とともに、教育・文化・スポーツ・経済など各分野広がりつつある市民間の相互交流を、両市議会の交流によりさらに促進していきたい旨を述べられました。

表敬訪問の懇談は、これまで培ってきた交流の成果が感じられるもので、今

後も市議会同士も前向きに交流を行っていく方向性が確認されました。

厚木市議会以外の出席者

[軍浦市]

キム・グィグン議長、シン・グムジャ副議長、イ・ドンハン産業経済委員長
イ・ギルホ議員 他 議会総務課職員等

[厚木市]

山口市長、秘書課井上秘書係長、企画政策課友好交流係灰岡主事

(3) 絵本館クムマル視察[4月18日]

クムマルは絵本を通じて夢を心ゆくまで広げるという意味で、2023年9月1日開館された。30年以上も空き地だった古い貯水池が絵本文化芸術空間として生まれ変わる。

約1万9000冊余りの絵本を所蔵する閲覧室、絵本の歴史を学び体験できる常設展示室、K-絵本をテーマにした企画展示室、プログラム室があり、屋内外の公演ホール、カフェとミニ公演場、そして眺めの良い公園まで備えた施設であり、散策だけで来られる方も多く屋外は夜10時まで利用できる。

(4) ソンジョン複合体育館視察[4月19日]

市民の健康増進に対する意識の高まりにより、日常的にスポーツを楽しむ人口が急増していることから、松亭（ソンジョン）地区内に健康・福祉・スポーツを総合的にカバーできる施設がなかったことから、市民の健康増進および生活の質の向上を図ろうとする目的のため、2024年9月1日に開館された。地上1階には地域住民のニーズに合わせえた健康管理を支援する松亭（ソンジョン）健康生活支援センターが設置されている。2階にはジムやGXルーム、こども向けのキッズゾーンがあり、3階には5レーンのプール、4階には多目的体育館とスカッシュコートがある。バドミントン、卓球、ヨガなどのスポーツ教室、終身健康室、体力測定室などといった市民の慢性疾患予防と身体活動促進のための健康増進事業を進めている。

(5) おもちゃ図書館見学【4月19日】

おもちゃ図書館は、乳幼児が様々なおもちゃや教材に触れる機会を提供することによって、乳幼児の健やかな発達と福祉の向上を目的として設立された。

そのため、おもちゃを貸し出すことで、家庭の経済的事情を考慮しつつ、保護者の育児に対する負担を軽減することを目指している。図書館で本を貸す感覚でのおもちゃを貸しており、日本ではほとんど見ない感覚である。子どもが一人いる家庭は500円程度の年会費を支払えばいつでも無料で借りることができる。子どもが二人以上の場合は、年会費もかからない。子育て支援をする環境は素晴らしいものがあり、視察中にも多くの利用が見られた。おもちゃ図書館は市内に3ヶ所ある。

(6)サンボン図書館視察[4月19日]

2023年7月4日にリニューアルオープンした。「余裕堂」という、サンボンシルバー図書館として読書をはじめ多様な文化活動ができる高齢者のための空間が設けられたほか、高齢者に限らず、すべての世代の市民が読書室やサークル活動、小規模な集まりなどに活用できる場所となっている。また、サンボン図書館のリモデリング事業は、2023年韓国リモデリング建築大展で老朽化した建物を現代的な複合文化空間へと再生させたことから優秀賞を受賞されたとのこと。

(7)歓迎会[4月19日]

軍浦市を代表してハ・ウンホ市長、アン・ドングァン副市長、キム・グィグン議長、シン・グムジャ副議長、市議会議員が参加し、その他にイ・ハギョン国会議員（民主党）、京畿道議会からは副議長チョン・ユンギョン議員、ソン・キー・ファン議員等、韓国国内からは青陽（チョンヤン）郡代表訪問団、襄陽（ヤンヤン）郡代表訪問団、務安（ムアン）郡代表訪問団、醴泉（イェチョン）郡代表訪問団が参加。また、軍浦市の海外友好都市としては厚木市と中国の臨沂市と衢州市が参加しました。中国語と日本語の同時通訳が軍浦市の職員によって行われていた。歓迎会では、各団体の紹介、軍浦市長による歓迎の挨拶、それぞれの友好都市の市長によるお祝いの挨拶、各友好都市代表訪問団の紹介等が行われました。

(8)開幕式・開幕コンサート[4月19日]

歓迎会終了後、「ツツジ祭り」で最も盛り上がりを見せるという「開幕式」及び「開幕コンサート」をツツジの丘公園特設ステージで見学をしました。雨降る中での参加となりましたが、雨を感じさせない盛り上がりを見せ、開幕式では、軍浦市長を初め、軍浦市議長、イ・ハギョン国会議員等のお祝いのスピーチに続き、コンサートでは、韓国で人気歌手ファン・ユンソン、キム・テウ、イ・チャンウォンなどによるパフォーマンスが行われ開幕コンサートは大変盛り上がりしました。

(9)ツツジの丘公園視察[4月20日]

修理山（スリサン）裸足歩き体験を予定していましたが、前日の雨の影響で体験ができず、予定を変更して、ツツジの丘公園及び「軍浦ツツジ祭り」の見学をしました。開催後一週間に渡って行われる「ツツジ期間」が、今年はツツジが咲くのが遅く、多くのツツジはまだつぼみの状態でしたが、公園内はイベント中であつたことから、大変多くの方が来場されており、賑わいを見せておりました。また、公園内には多くのフォトスポットを用意しており、公園を訪れた人が記念撮影をされたり、市民団体、民間店舗を中心とした飲食ブース、物産ブース更には行政のPRブース等が数多く出展されておりました。

7 まとめ

今回の訪問は、ハ・ウンホ軍浦市長、キム・グィグン軍浦市議会議長をはじめとする軍浦市の要人の熱烈な歓迎と活発な意見交換を行うことができたなど、これまでの厚木市、軍浦市の友好交流の確かな成果を感じさせ、これまで、厚木市、軍浦市両市、両市議会における友好の絆を一層深めることができたことは本議会として大変有意義な訪問となりました。この貴重な体験は、今後、議会同士の間での更なる友好交流を図って行く上で、礎となる訪問ができたものと感じております。